



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780
(3333) 77-2422

☎ (0263) 52-3100
www.mdu.co.in

1部60円

日中笹川医学 第47期＜共同研究コース＞に本学研究チームが採択
奨学金制度 ～ 中国の大学との共同研究成果を発表 ～



日中両国の医学・歯学研究の発展に期待

9月16日(水)、東京都内の日本財団ビル大会議室において、「日中笹川医学奨学金制度第47期(共同研究コース)研究者集会」が開催され、本学も研究チームとして参加した。今回の研究者集会には、中国大使館、日本財団、笹川保健財団、日中医学協会の関係者をはじめ、笹川医学奨学金進修生同学会(研究者OB会)、東京大学をはじめとする国内の主要大学・研究機関などから70人以上が参加した。第47期に採択された9組の日中共同研究チームが研究成果を英語で発表し、活発な質疑応答と意見交換が行われた。さらに集会の様子はオンラインでも配信され多くの関係者が視聴した。

日中笹川医学奨学金制度は、中国の医学・医療分野の指導者となりうる人材を育成するとともに、日中両国の医学・医療分野における協力関係を一層促進することを目的として、中国の研究者を日本に招聘する奨学金制度で、1986年に創設された。長年にわたる、両国の医学・医療分野における人材育成と学术交流を支えてきた。

本学の研究チームは、日本側から宇田川信之学長、李憲起特任教授と筆者が、中国側からは、空軍軍医大学第三附属医院・口腔システム再建と再生全国重点实验室の樊沛楠助理研究員が

活発な議論が交わされた本学研究チームの発表



左から李特任教授、樊沛楠助理研究員・苗允中華人民共和國駐日本大使館參事官、宇田川學長、筆者

を生かし、変形性顎関節症における軟骨細胞の機能と細胞死の分子メカニズムの解明に向けて研究を進めている。

当発表会では、双方の研究者による専門性の高い研究成果が共有され、今後の研究展開についても活発な議論が交わされた。本学にとっても、中国の主要な

塩尻警察署・林盛広警備課長
小周一生活安全課長が講話

より安全に、充実した大学生活を送るために

歯学部生対象の詐欺・防犯に係る講習会

全歯学部生を対象にした2026年度詐欺・防犯に係る講習会が9月10日（木）、本館7階講堂で開かれた。

にも触れた講話を熱心に聴き、被害者にも加害者にもならないための注意点を確認した。

林警備課長は、発生から30年

講堂で開かれた。講習会は、私立大学協会が研修会において各大学に対し、増加する若年層が関わる詐欺への注意喚起を呼びかけたことなど（1995年）を起こした「オ

を受けて、学生たちに、身近に潜む事件や事故の可能性に理解を深め、より安全に大学生生活を送ってもらうと企画された。

学生たちは、塩尻警察署の林盛広警備課長と小山周一生生活全課長から、凶悪犯罪や特殊詐欺、闇バイトなど、実際の事件（アレフ）「ひかりの輪」と団

医学・歯学研究機関との研究交流を深め、国際的な共同研究を発展させる貴重な機会となった。今後、中国との教育・研究

交流を基盤として国際的な共同研究を積極的に推進し、日中両国の医学・歯学研究の発展に貢献していきたいと考えている。

准教授 楊 静

准教授 楊 静

准教授 楊 静

准教授 楊 静

と、Alpha は、団体名を隠し、ヨガ教室などの名目で接近して行くこと、ひかりの輪は主催行事への参加を一般にも呼び掛けしていることなどを説明し、公安調査庁の観察処分が今も続いていることなどにも触れた。これらの組織は「人の弱さに付け込んでくる。実態を知っていた方がいい、皆さんは、万が一、声をかけられることがあってもしつかりと断れることに期待する」などと述べた。また、強引な勧誘を受けた場合は、すぐに警察に相談するよう注意喚起した。

本学は10月16日（金）午前9時から25日（日）午後9時までの10日間、全国で一斉開催される「学生による」資金調達イベント「Giving Campaign（ギビングキャンペーン）2029」に参加する。

参加する国内の大学の学生が、部やサークル、研究室などの課外活動団体ごとに活動イベントの専用サイトなどを通じて発信し、応援や支援を募るオンラインイベントで、今年で7回目となる。今年度は115校のおよそ3000の団体が参加する。協力したい人は、イベントの専用サイトから、自分が応援したい大学の団体に対して応援の気持ちを「応援投票」で表現したり寄付をしたりする。学生

たちには「応援投票」の獲得数に応じてイベントの協賛企業の資金が配分され、寄付が「大学基金」を通じて届く。「日本に明るい未来をもたせよう」などと、株式会社Alumnote（アルムノート）が運営を担当し、各参加大学が主催する仕組みで行われる。昨年は115大学が参加し、延べ1億6000万円の寄付が創出された。本学は合計で約24万円を獲得した。

詳細はイベント情報を随時更新している専用サイトへ。

サイト
 コード
 専用
 QR



専用サイト
QRコード



ギビング・キャンペーン

10
/ 16
金
25
日



詐欺被害への対処法などを熱心に聴く学生たち

扱う事務の中でも被害擁護、特に詐欺や防犯に関して、学生たちに心得ていてほしいことを中心に話した。長野県警察では特殊詐欺を「電話でお金詐欺」と呼び、それらはオレオレ詐欺、SNS型投資詐欺、SNS型口マンス詐欺、ニセ警察詐欺など

推奨する被害防止のアプリの活用や、犯罪が発生する場所や状況には自分から近づかないことが重要だとし、この日の講習会で学んだことを学生たちが身近な人に伝えることで、多くの私たちの被害も未然に防ぐことにつながると話した。

13類型に分けているが、次々と新しい巧妙な手口が出ている状況にあるという。県内での発生状況は8月末現在で372件と、昨年に比べて100件以上も多く、被害額は約26億円にも上っている。『お金がないから安心』だと思いかもしれないが、犯人は消費者金融やカードローンでお金を借りることを強要するので、だれでも被害に遭う可能性にある。暗号資産で送金を迫られる事例もあり、あらゆる世代がターゲットになっている」と警戒を呼びかけた。

被害を防ぐためには、警察が

水没した車を誰が動かせるのか君は知っているか

内閣官房参与
松本歯科大学理事（特命）
特命教授
飯島 勲

今月号では『プレジデント』10月2日号「リーダーの掟飯島 勲」より、「水没した車を誰が動かせるのか君は知っているか」の記事を要約して紹介します。

この夏は非常に自然災害が多かった。7月28日に発生した熊本地震。発生1カ月後の8月27日時点での内閣府のまとめによると、38人が死亡、34人が重傷、住家被害は、全壊が1730棟、半壊が3139棟となっていた。いまだに、63カ所の避難所で2519人の被災者が生活している。地震発生後の連日の猛暑も、復旧の妨げになっている。

全国各地で豪雨被害も相次い

撤去が終わるまでに1週間近くかかった。

8月27日には、石川県、富山県で、8月30日には福井県で線状降水帯が発生して浸水被害が広範囲に及んだ。こちらでも、水没して動けなくなる車両が相次いだ。しかし、ここ数年、熊本県と石川県は自然災害の被害が集中していて、被災者の方の苦勞を思うと胸が痛む。

実は、2014年に災害対策基本法が改正されるまで、被災地へ向かう道路をふさぐ車両には手が出せず、車体を壊してまで動かすこともできなかった。私も改正法の成立には関わったのでよく覚えているが、この年の2月に、関東甲信越地方で記録的な大雪が降ったのが改正のきっかけだった。特に降雪量が多かったのが山梨県で、立ち往生する車両や、放置される車両



水没し停止する車両

が多数発生して、除雪車が通行できなくなり、数日間にわたって多くの道路が通行止めとなった。この結果、長期間孤立する集落もあるなど、被害が拡大した。

この経験から、大規模地震や大雪などの災害時に緊急通行車両の通行を確保するため、私有財産であっても、県や市など道路管理者による放置車両などの移動の必要性がクローズアップされたのである。当時の第2次

安倍内閣のもとで、大雪の発生から9カ月で改正法の施行にこぎつけた。いつもは内閣提案には猛反対する野党も、この改正案には協力的で衆参両院とも全会一致で可決した。

この改正により、災害時における車両の移動などを規定したのが災害対策基本法第76条の6第1項である。

14年12月、改正法成立後初めて、愛媛・徳島県境の国道で大雪により約130台が立ち往生した際に車両の排除が行われた。その後は大雪だけでなく、豪雨被害や24年の能登半島地震でも、この法律で、緊急車両が多くの人を助けてきた。

今回の千葉豪雨でも、千葉県と千葉市は8月14日朝、この規定に基づく区間指定を行った。それでも放置車両が車道をふさぎ、水が引いた後も断続的に渋

滞が発生していた。この法律がなければ、持ち主全員に同意を確認しなければならず、被害がどれほど長引いたか分からない。この法律では、道路管理者が車両などを移動させる際にやむをえず破損することも認められている。例えばサイドブレーキを外すために窓を割ることや、重機で動かすときに車体を傷つけることなどが想定されている。損失補償の規定もある。

だから、万が一のときには、生命を守るため、車両からの脱出・避難を優先してほしい。しかしながら、災害級の豪雨や大雪のときは、車に乗らないのが一番だろう。法律はそもそも国民の生活を守るためのものである。だからこそ、法律から得られるメリットを多くの読者の皆さんにも知ってもらいたい。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授

笠原 浩

前回に「痛みの二面性」として、同じ大きな「痛覚」でも、それに対する「痛反応」には個人差があること、さらに同じ人であっても時と場合によって大きく変化するものであることを、お話ししました。

例えば、歯科治療に不安や恐怖感を抱いている患者さんは、痛覚閾値が大幅に低下していますから、わずかな痛みでも辛い思いをしてしまうでしょう。極端な場合には三叉迷走神経反射による疼痛性ショックをも起こしかねません。歯科治療が多くの人たちに恐れられていた半世紀前には、局所麻酔の注射の痛み（当時のプロカイン骨膜下注射は本当に痛いものでした）で「脳貧血」を起こす患者さんが多く、「デンタル・ショック」と呼ばれていました。

それでは、そうした不安や恐怖感を歯科診療の場でのようになら解消して、患者さんを安心させることができるのでしょうか。そのカギは「コミュニケーションの確立にある」と、前回も申し上げました。医療の対象は、人体の一部やその病気ではなく「人間」だ。とはよく言われる言葉ですが、歯科医療もその例外ではありません。「心配なこと分らないことがあったら、なんでも遠慮なくお尋ねください」と告げれば、患者さんは安心してくれます。

日本歯科理工学会中部地方会 山本昭夫特任教授が 功労賞を受賞



中部地方会の泉会長より功労賞を授与される山本特任教授

残暑厳しい中、8月21日（金）・22日（土）の両日、日本歯科理工学会中部地方会セミナーが、愛知学院大学歯学部歯科理工学講座が主幹となり石川県金沢市のホテル金沢兼六荘にて大会参加者40人で開催された。

1日目は、古都金沢にふさわしく金箔伝統技術保存会会長松村謙一先生を講師に招き「美術史から見る金箔伝統の歴史と製造技術について」と題した特別講演が行われ、金箔の薄さと色調の関係、昔の金箔製造技術と現代の技術の違い、さらに金箔と歯科医療の関係につ

いてご講演いただいた。夕方からは、老舗料亭秋月で出席者40人のもと懇親会が行われ、その席上、日本歯科理工学会中部地方会の功労賞の授与があり、本学の山本昭夫特任教授が、日本歯科理工学会および中部地方会への長年にわたる貢献と功労が高く評価され、中部地方会長で新潟大学大学院教授の泉 健次先生から功労賞が授与された。

山本特任教授は、授与式の挨拶で、自身がこのような名誉ある功労賞を授与されることに厚いお礼を述べられるとともに、

互いの経験や知識を共有することの重要性を認識

第26回 長野県歯科口腔外科協議会を開催

（理工学講座非常勤講師 津村智信）

先生が中心になって作られたチタンスリーユニットブリッジの医療技術提案書を厚生労働省に提出され、今年、それがきっかけで保険収載の運びとなった経緯を踏まえ、今後のチタンスリーユニットブリッジの検討課題について講演された。

最後に、次期大会長である黒岩教授より、来年の中部地方会セミナーのご案内とご挨拶をいただき、全日程を終了した。

8月29日（土）に、第26回長野県歯科口腔外科協議会を本学にて開催した。本協議会は本学と信州大学が隔年で主催し、長野県全域の病院歯科口腔外科より各施設における診療・教育・医療安全等に関する情報交換を行うとともに、若手歯科口腔外

科医に日頃の診療や研究成果を発表する機会を提供し、次世代を担う人材の育成につなげることを目的としている。当日は県内各地から約50人が参加し、一般口演では13演題の発表が行われた。各施設から多岐にわたる症例や臨床的取り組みが報告さ



左から特別講演された伊原先生と筆者

れ、活発な質疑応答が行われた。施設ごとに診療体制や患者背景が異なる中でそれぞれの経験や工夫を共有することは、日常診療を見直すうえでも大変有意義な機会となった。

本学からも新入医局員の黄中諒先生がインプラント治療に関する症例を報告し、貴重な発表経験となった。また、柳沢みさき歯科衛生士チームからは、当院における感染対策の現状について報告が行われた。歯科医師のみならず歯科衛生士からも現場の課題や取り組みを発信することで、多職種の視点から病院歯科口腔外科の診療を考える機会となった。

最後には、昭和医科大学口腔リハビリテーション科の伊原良明教授を招き、「頭頸部外科的治療後に生じる機能障害とリハビリテーション」と題して特別講演をいただいた。頭頸部外科治療後に生じる摂食嚥下や発話などの機能障害と、そのリハビリテーションについての最新の

知見を交えたご講演を拝聴し、日常診療における口腔機能への理解を深めるとともに、知識をアップデートするうえでも大変有益な機会となった。今回の協議会を通じて、県内の病院歯科口腔外科が施設の垣根を越えて交流し、互いの経験や知識を共有することの重要性を改めて認識した。今後も継続して情報交換と若手医療者の発表・育成の場を設けることで、長野県における病院歯科口腔外科診療のさらなる発展につなげていきたい。

「対話」です。まず、初めてク

痛みと歯科医療⑫

さあ、まずはご挨拶です。「おはようございます。○○さん」と、必ずお名前を呼んでご挨拶してください。患者さんのお名前は診療申込書やカルテで確認できるはずですが、「おはあちゃん」「坊や」ではいけません。きちんと目を合わせ、歓迎の意を表すスマイルも忘れないことです。

患者さんがそれに応えて、ご挨拶を返してください。双方向のコミュニケーションの第一歩が成立できたのです。そこで「いい天気ですね」などと、会話を続けましょう。「さて、どうなさいましたか？」は、そうした対話の後にしてください。このようにして対話が成立したところで、診察の結果や治療方針を分かりやすく説明します。「心配なこと分らないことがあったら、なんでも遠慮なくお尋ねください」と告げれば、患者さんは安心してくれます。

病院だより vol.78

保健室

メンタルヘルス

～自分の「考え方のクセ」に
気づいてみませんか？～

「最近、なんだかやる気がでない」「ちょっとしたことでもイライラする」「失敗すると、いつまでも気になってしまう」…あなたのこころは疲れていませんか。

メンタルヘルスとは、こころの健康のことです。厚生労働省の2024（令和6）年「労働

安全衛生調査（実態調査）によれば、仕事や職業生活に關して強い不安、悩み、ストレスを感じている労働者は68・3％にのぼります。

ストレスは、特別な人だけが抱えるものではなく、誰にとっても身近なものです。

そこで今回は、ストレスとの付き合い方の一つとして、「考え方のクセ」に目を向けてみましょう。

私たちは、これまでの経験や環境の中で、物事の受け止め方や考え方のパターンを身につけています。それは、仕事をする上での強みになることもあります。一方で、ストレスが重なったときには、いつもの考え方が自分を苦しくさせることもありま



本学のストレスチェックと「こころの耳」5分でできるエゴグラムQRコード

き、「自分は何をやってもダメだ」と落ち込むことはありませんか？ そんなときは「今回はうまくいかなかったけど、次はどう改善しよう？」と考えてみることで、気持ちが楽になることがあります。

また相手の言動に「なん

き、「自分は何をやってもダメだ」と落ち込むことはありませんか？ そんなときは「今回はうまくいかなかったけど、次はどう改善しよう？」と考えてみることで、気持ちが楽になることがあります。

また相手の言動に「なん

必要はありません。まずは「自分にはこういう傾向がある」と知ることから始めてみませんか。

厚生労働省の「こころの耳」には、自分の性格や行動の傾向を知ることができる「5分でできるエゴグラム・セルフチェック」があります。自分自身を振

り返るきっかけとして、気軽に試してみたいかがでしょうか。

また、大学で実施しているストレスチェックも、ご自分の心身の状態を振り返る大切な機会です。結果を「受けて終わり」にせず、日々のセルフケアや必要な相談にぜひ活用ください。

「最近不安な気持ちになり寝付けない」「仕事のことを考えると気持ちが重い」と感じたら、無理をせず、休むことや誰かに相談することも重要なセルフケアです。

この研修会は、医療法の改正により、全医療機関において、医療安全に関する管理体制の整備が義務付けられ、安全で安心

2026年度長野県委託事業「歯科医療安全管理体制推進特別事業の医療安全研修会講師養成研修会」が9月17日（木）、長野市の長野県歯科医師会館にて本学口腔顎顔面外科学講座の栗原祐史主任教授を講師に迎えて開催された。

この研修会は、医療法の改正により、全医療機関において、医療安全に関する管理体制の整備が義務付けられ、安全で安心



栗原主任教授が講師を務めた研修会

栗原主任教授は、長野県歯科医師会会長に配布される。今後とも長野県歯科医師会会本学とさまざまな事業を連携して実施していく予定である。

（臨床准教授 長野県歯科医師会理事 23期生 山本明章）

栗原祐史主任教授が講演

「日常臨床にて遭遇する
インシデントについて」歯科医療安全管理体制推進特別事業の
医療安全研修会講師養成研修会

な歯科医療の供給体制を整え、質の高い歯科医療が提供されるよう歯科医療従事者に対する歯科医療安全に関する研修会を実施することを目的に毎年、長野県歯科医師会が長野県より委託されて主催している。昨年は本

学歯科麻酔学講座の澁谷 徹教授が講師を担当された。

当日は県内全ての20郡市歯科医師会より会員が出席し、長野県歯科医師会からも医療管理部担当役員ならびに部員が出席した。講演の演題は「誤飲・誤嚥の対応」と「感染対策の現状」であった。栗原主任教授は日常臨床にて遭遇するインシデントについて分かりやすくご自身の症例を示しながら解説され、受講生の歯科医師も理解を深める事ができた。

（臨床准教授 長野県歯科医師会理事 23期生 山本明章）

第1学年・生命科学入門Ⅱ

24期生・歯科・矯正歯科
GOOD SMILE 院長

薄井陽平先生が講義



自身の本学での学生生活なども交えて講義される薄井先生

「過去・現在・未来について」と題し、ご自身の6年間の歯学部生活から先生方が現在取り組んでいる最新の歯科治療、とりわけ専門分野である矯正歯科治療の取り組みや今後の展望について映像を交え、学生の皆さんの今後の役に立つようにと配慮したお話をしていた。

学生たちが真面目に先生のお話を耳を

「これからの歯科界を担う皆さんへ
きみたちは松本歯科大学で何を学び、どう生きるか」

7月14日（火）、第1学年生命科学入門Ⅱの講義が本学非常勤講師の薄井陽平先生により行われた。

薄井先生は24期卒業の校友で、長く本学歯科矯正学講座にて研鑽を積み博士（歯学）、公益社団法人日本矯正歯科学会認定医・指導医を取得されている。

歯科矯正、口腔外科、歯科補綴、歯周病、インプラント等の専門分野の知識や技術を習得した各分野の専門医の先生方と共に2016年、山梨県甲府市にて歯科・矯正歯科GOOD SMILEを開院した。

講義では「これからの歯科界を担う皆さんへ きみたちは松本歯科大学で何を学び、どう生きるか

傾け、講義後には多くの学生より将来の進路や夢についての質問があり、非常に有意義な時間となった。

薄井先生は「思えば私自身も30年前、この同じ教室で授業を受けていたのだと思うと感慨深い。熱心に聴講していただいた

学生の皆さんの瞳を思い出すと、母校の後輩の将来は限りなく有望であり、未来の歯科界は明るいと確信できた。今後もこの若者たちの良い手本となれるように自分自身も精進を続けたい」と述べられた。

（生命科学入門Ⅱ担当 教授 岡藤範正）
（大学隣接歯科矯正学講座 教授 岡藤範正）



講義館大教室で行われた全体説明会

本学は、「よく噛んでおいしく健康に」をテーマにした料理作品の公募イベント「第13回カムカム（噛む噛む）メニュー写真コンテスト」の作品を募集している。応募は10月25日（日）まで（必着）、メール、郵送、SNS（X）、またはインスタグラム）で受け付けている。

応募作品の中から、優れた作品を表彰し、副賞として食事付きホテル宿泊券や高級オリーブオイルセット、食事券などを贈る。入賞作品の発表と表彰式は11月28日（土）、本学で行う。

併せて、「よく噛んで食べる食事」をテーマに、日本女子大学食科学部栄養学科の小城明子准教授と本学の増田裕次特任教授の講演会なども行う。

本学は「カムカム（噛む噛む）メニュー」を普及・推進させようと、2011年から学生食

堂での提供を始め、2014年からは毎年、写真コンテストを実施している。昨年の写真コンテストには県内外から40点の応募があり、ゴボウを揚げ焼きしたメニューや、根菜類を入れたパンなど、食材や調理法に工夫を凝らしたメニューが上位に入った。コンテスト事務局の本学社会貢献・地域連携推進センターは、「噛み応えのあるおいしいそうなおリジナルメニューの写真のご応募をお待ちしています」と呼び掛けている。

コンテストの詳細は、右QRコードへアクセス。



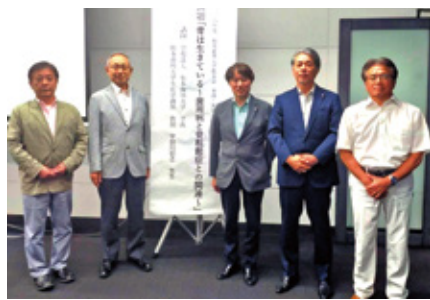
Alumni News

松本歯科大学校友会

本部・東海4支部共催学術講演会を開催 宇田川信之学長が 骨代謝分野の基礎研究を中心に解説

まだ暑さの残る8月30日（日）、宇田川信之学長を講師にお迎えし、校友会本部・東海4支部共催学術講演会を名古屋市内で開催いたしました。

当日は猛暑日となりましたが、愛知、岐阜、三重、静岡の各支部より46人が参加し、活気ある会となりました。



講演をされた宇田川学長（中央）と4支部の代表者

冒頭、宇田川先生より松本歯科大学の沿革、新入生の状況、学費減免、歯科衛生士教育、ダブルライセンス構想など、大学の近況が紹介されました。続いて、ご自身の研究者としての歩みに触れながら、基礎研究が臨床歯科医学を支える重要な土台であることが述べられました。

講演の中心となった骨代謝の分野では、破骨細胞とRANKL・RANK・OPGによる調節の中心と見出された。骨代謝調節の仕組みが解説されました。さらに、これらの研究成果が骨粗鬆症や癌の骨転移治療薬「デノスマブ」の開発につながった経緯も紹介され、基礎研究が臨床応用に発展した好例として興味深い内容でした。骨粗鬆症と歯周病、糖尿病など全身疾患との関連、スクレロシンとメカニカルストレス、咀嚼が骨形成に及ぼす影響についても言及されました。

後半では、教育改革C.B.T.国家試験、歯科医師数の減少と高齢化などの課題にも触れ、学生を確実に歯科医師として育成する重要性が語られました。

最後には先生ご出演の「NHKのど自慢」の動画も流され、会場は笑いに包まれました。基礎研究と臨床のつながり、口腔と全身の健康の関係を改めて学ぶ良い機会となりました。

（愛知県支部 28期生 松本弥之）

（支部長 6期生 宮田彦）



校友会
伝言板

事務局より

山梨県支部から本学への寄附（8月）について

◆寄附金額・100万円

「支部役員会の賛同を得て、ささやかではありますが寄附させていただきました。母校のさらなる発展と、学生の皆さんの未来を心より応援しております」

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）

（支部長 6期生 宮田彦）